



最優秀賞

設計部門



大手町ビル SKYLAB 超高層ビルに囲まれた空中の中庭

株式会社三菱地所設計
飯沼安裕・荒井拓州・安倍泰司・加藤周二・内山竜太郎・庵原弘樹・佐藤琢也・糟谷麻紘

屋上空地のワークプレイス

1958（昭和33）年竣工の「大手町ビル」のリノベーションの一環となる、ビル就業者を中心としたワーカーたちへ向けた屋上空地のワークプレイス化計画である。

通常、屋上に並ぶ設備機器群が、ここでは塔屋と北側にコンパクトにまとめられているため、大手町ビル屋上の南側（丸の内側）には大きな空地があった。竣工当時とは、屋休みに弁当

を広げたり、バレーボールをしたりと、周囲を見渡せる開放的な場所としてワーカーたちのくつろぎの場となっていたらしい。しかし年月の経過の中で超高層ビルに囲まれて眺望が失われていき、すっかりその存在は埋没してしまった。しだいに屋上は、安全管理上の観点から関係者以外立ち入り禁止となり、利用されなくなった。

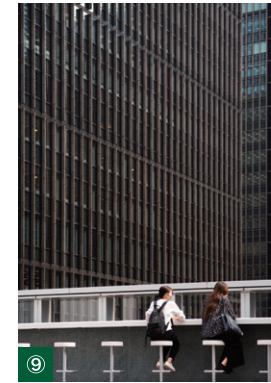
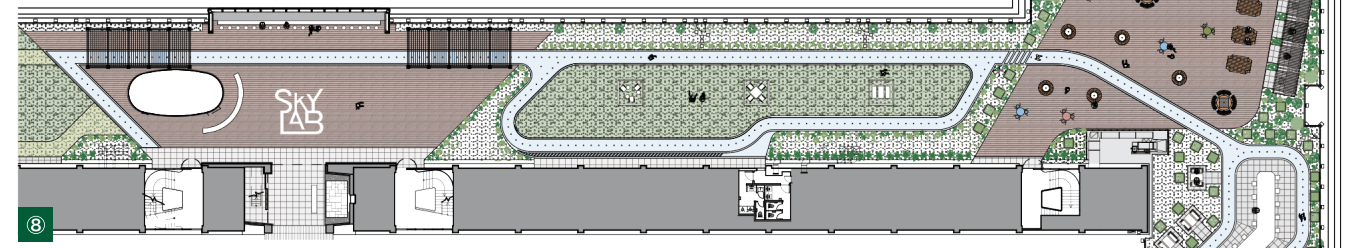
今回の屋上リノベーションは、この屋上空地を“超高層ビルに囲まれた谷間”とマイナスに捉えるのではなく、“時間の経過によって生成された、現代的で都市的な空中の中庭”とプラスに捉え、屋外利用も可能なワークプレイスとして整備し、この場所を再びワーカーたちに戻すことにした。

作品概要

作品名—— 大手町ビル SKYLAB
所在地—— 東京都千代田区大手町1-6-1
発注—— 三菱地所
設計—— 三菱地所設計
設計協力—— ソラ・アソシエイツ
監理—— 三菱地所設計
施工—— 大成建設 東光電気工事 第一工業 斎久工業
設計期間—— 2020年6月～2021年4月
施工期間—— 2021年5月～2022年4月
規模—— 屋上改修範囲4,038.83㎡
主要施設—— WORK/LOUNGE/LAWN/FARMの各エリアと LOOP ROAD

作品評

本作品は、大手町にある高層ビルに囲まれた既存の中層ビルの使われていなかった屋上部を、利用空間として開放したものである。細長い空間をそれぞれのコンセプトに満たした空間にゾーン分けをし、ピビッドカラーで舗装された園路をつないでいる。
新たな提案はアウトドアワークスペースの提供という、まさに屋上の可能性を広げた、時代性を捉えた提案であり、その内容も、個々のニーズに応じたきめ細かい対応となっている。既存ビルの屋上利用であることから、荷重制限などへの技術的な対応を図りながら、多彩で魅力ある空間に仕上がっている。
照明と植栽についても、空間毎にきめ細かく対応され、時間ごと、場所ごと、そして利用者ごと、ともいえるような楽しい空間が展開されている。ビルの谷間というマイナスイメージを逆手に取り、ビル街を眺める空間に替えている。選考委員会では、大胆な提案と、それを可能とした丁寧な仕事に評価が集まり、また、説明資料も明確で解りやすかったこと等から、最優秀賞となった。



①日比谷通り・西側上空より見る ②周辺ビルの灯りに照らされる「LOUNGE」エリア ③1958（昭和33）年竣工時の大手町ビルと丸の内・大手町エリア ④改修前の大手町ビル（東側上空より） ⑤緑に囲まれた「ソファ席」 ⑥テーブルのある「ソロワーク席」 ⑦クッション性のある歩行感の「LOOP ROAD」 ⑧屋上平面図 ⑨丸の内仲通りを望めるロングカウンター席 ⑩夜になると「SKYLAB」のロゴが照射される ⑪人数に合わせて場所を選べる「WORK」エリア

選択性のある場所のデザイン

面積にしておよそ4,000㎡、長さ200mにおよぶ広大な空間を4つの場（WORK/LOUNGE/LAWN/FARM）に分け、それらをクッション性のある歩行感の「LOOP ROAD」と名付けた動線で繋いだ。丸の内仲通りを見下ろすロングカウンター席や、ひとりで集中できるソロワーク席、数段高くして他よりやや独立した小上がりテーブル席、同じビルで働く人との接点を生むコラボテーブル席、皇居を臨みながらチームミーティングできるソファ席を設け、人数や働き方に合わせて好みの場所を選択できるようにした。

既存ビルの改修であるため、新たなデザインは屋上の許容積載荷重の範囲内で検討する必要があった。比較的軽い再生木デッキと、重量のある植栽帯やパーゴラ基礎は、柱梁で囲まれた1スパン単位で下地を含めた総重量を少しずつ微調整し、

全体の線形を決定している。座席の回りにはグリーン・パーゴラで立体的に緑化したほか、100種類の草種を混植し、季節によって生育の変化を楽しめる。既存ビルの改修であるため、新たなデザインは屋上の許容積載荷重の範囲内、つまり柱梁で囲まれた1スパン単位で下地を含めた総重量を微調整し、全体の線形を決定している。

オープンしてから早速、大手町ビル地下の店舗で弁当を買って、屋上で昼食を取るワーカーたちで賑わっている。夕暮れ時には、グループメンバーがざらざらとソファ席に集まってきてミーティングをしたり、夜になると人工芝エリアで行われるヨガのイベントに参加してリフレッシュしてから帰宅していく。周りに生かされている副産物のような都市の空間をとことん楽しみ、発見と実験の場所「SKYLAB」として、ますます活用されていくことを期待している。